

市民との対話事業 **市長とふれあいトーク**

実施日時	平成 26 年 10 月 30 日 (木) (19 : 00~20 : 20)		
実施場所	西部会館	人数	25 名
参加対象	西部地区振興会		
懇談内容	<p>【 1. 発言者】</p> <p>① 県立十日町病院が現在改築されているが、それに伴い、隣接している高田町三南町内の周辺整備の問題がどうなっているか。</p> <p>② 市道島坂ノ下線の道路拡張の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>③ 変電所の坂ノ下線の道路拡幅（市道稲荷町線）の進捗状況を聞きたい。</p> <p>④ 稲荷町 3 丁目本通りの J R の踏切の拡幅（市道稲荷町線）の進捗状況はどうなっているか。</p> <p>【市 長】</p> <p>① 検察庁前の脇の東側道路（市道桜木町高田町 3 丁目南線）の拡幅を行っている。また、病院の南側の消雪パイプの整備が終わった。</p> <p>ヒノデヤさんから市役所通り（市道山本高山線）に抜けるまでの道には、病院建設が進んだ後、本格的な事業化の検討に入りたい。裁判所の土地を病院づくりとリンクして市で何かできないか検討している。</p> <p>山松さんの脇の道路（市道高田町 3 丁目西 6 号線）は着手できたが、時間がかかる可能性がある。今年は旧税務署側の地中にある構造物の撤去工事を行った。</p> <p>② 地権者から事業にご協力いただけると伺っている。北側の石積みを削り、道路を拡張していくという工程になると思う。下の川（水路）を暗渠にすることで道路幅を確保する方向で進めている。</p> <p>③ 来年度、実施設計の予算を上げていきたい。1 年で実施設計が終わり、その後に事業化という方向になると思う。ただし、変電所の方へ拡幅できず住宅の方を拡幅しなければならず、住宅の出入りが難しくなる。とにかく実施設計を行い、工事がどの程度難しくなるかも見極める。</p> <p>④ J R からは「踏切を渡ってリオンドールの方に向かう道路を市で拡幅するという確約がないと、踏切の拡幅に向かえない」との回答がされている。あそこは 16m の都市計画道路だが、踏切を渡ってリオンドールの側を 16m に広げるとなると、地権者の関係など大変難しい。幅員の狭い道路をつくるということもできるが、国や県の補助が受けられない。誠に申し訳ないが、J R の回答では前に進められないという状況である。</p> <p>【 2. 発言者】</p> <p>① 昨年から除雪制度が変わり、市の基準では、平場は 4 件ないと認定外道路除雪の補助の対象にならない。今は 2 件しかなく、個人負担 100%</p>		

である。昨年は町内で支払った。今後もこのままの基準でいくのか。

- ② 市道に個人の屋根雪を落として一斉除雪を行う場合は市から補助が出るが、認定外道路になると一切補助が出ないは平等性に欠ける。

【市 長】

- ① 市道にできない道路の住宅の件数については常に議論しており、件数だけでなく公共性等を考慮するように柔軟に検討している。
- ② 雪をどうしても道路に出さなければならないという状況は、認定外道路か市道かという違いはあまりないかもしれないので協議したい。

【3. 発言者】

認定外道路の除雪は年間数十万かかるが、市道除雪、生活道路除雪は無料なのは不公平である。

【市 長】

負担の問題については認識している。

【4. 発言者.】

（【1. 発言者】①を踏まえ）ヒノデヤさんから駐車場くらいまでは早めにということでお願いできないか。

【市 長】

家屋もあるため、相当の覚悟をもって臨まなければならないと思っている。新しくできる駐車場の流れなどを見ながら、議論していきたい。

【5. 発言者】

「水辺の公園」のゴミ拾いや草刈り等を行っているがあまり利用されていない。もう少しみんなが寄っていきけるような公園にできないか。

【市 長】

様々なケースを考慮し、公園のあり方を見直したいと思っている。

【6. 発言者】

- ① ほくほく線の駅舎に観光交流課と観光協会が入る。当振興会の事務所として一部屋使用させてもらいたい。
- ② 駅から本町西線に出るところに信号機の設置を警察に要望をしているが、駅舎改築完了後の交通量を見て、市からも後押ししてもらいたい。

【市 長】

- ① 既に何を配置するか線が引いてあり、部屋を用意することができるかどうかわからないので確認する。
- ② 市の方では交通量が増える箇所での雪の処理の仕方などについて検討していきたい。